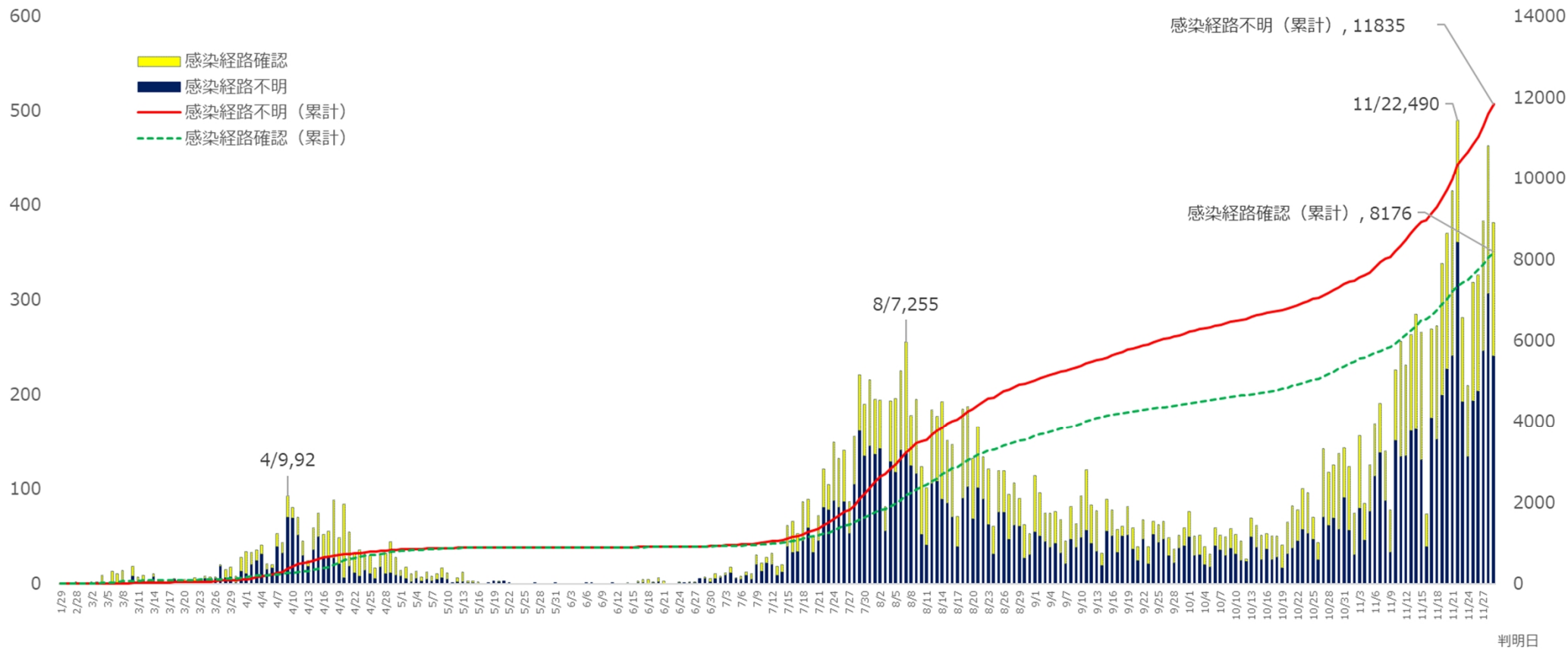


令和2年12月1日高齢者施設運営法人経営層向け
新型コロナウイルス感染症対策オンラインセミナー

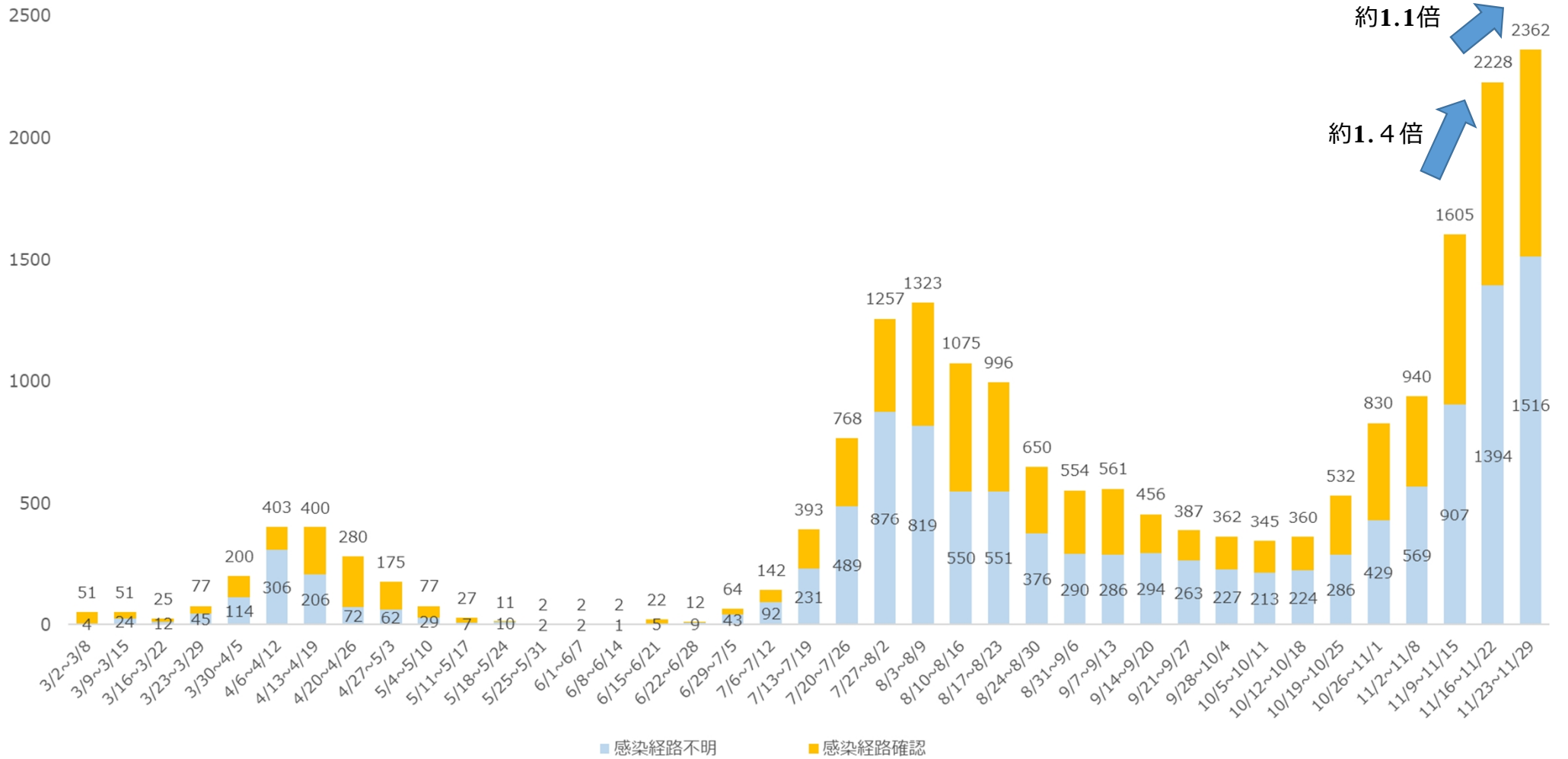
新型コロナウイルスの感染状況及び 施設クラスターの発生状況等について

令和2年12月1日
大阪府健康医療部

陽性者数の推移

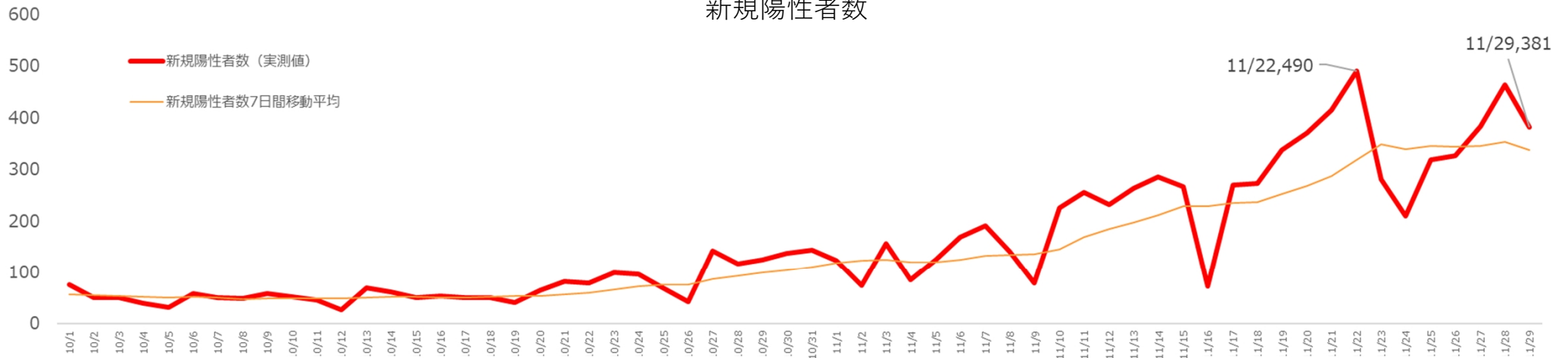


7日間毎の新規陽性者数



新規陽性者数と入院・療養者数

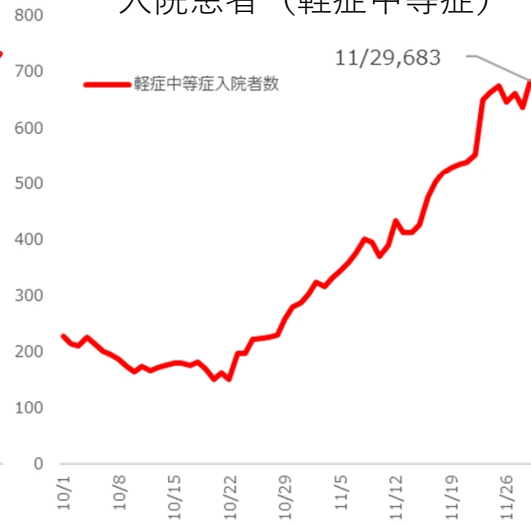
新規陽性者数



入院患者 (重症)



入院患者 (軽症中等症)



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況（11月29日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	60床	500床	400室
	フェーズ2	80床	800床	800室
	フェーズ3	150床	1,000床	1,036室
	フェーズ4	215床	1,400床	—
確保数等 ※重症病床、軽症中等症病床について、 11月19日からフェーズ4へ移行		確保数206床 (実運用数137床)	確保数1,199床 (実運用数956床)	1,555室 (実運用数1,555室)
入院・療養者数		110人	683人	634人
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)		53.4% (110／206)	57.0% (683／1,199)	40.8% (634／1,555)
(使用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)		80.3% (110／137)	71.4% (683／956)	40.8% (634／1,555)

※ 別途、自宅療養 1,495人

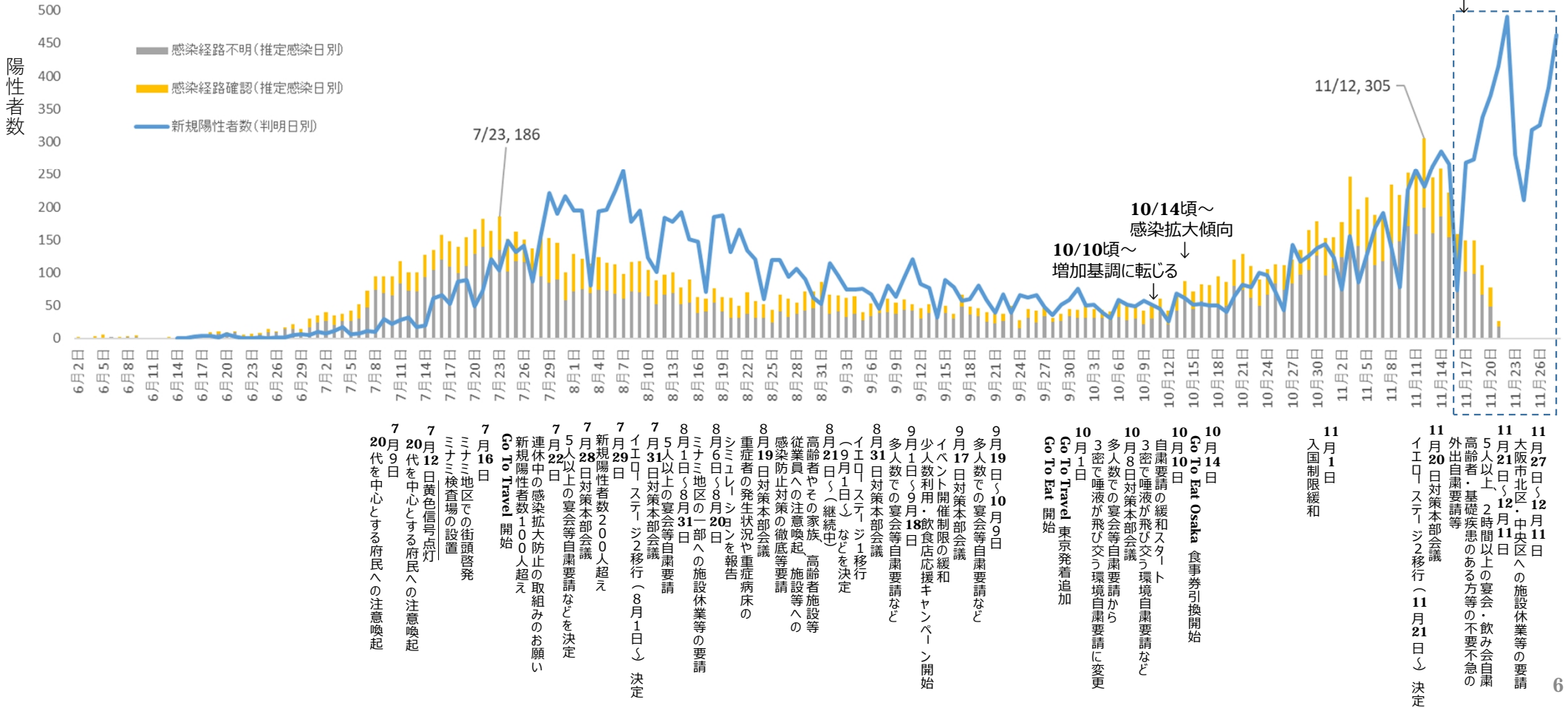
推定感染日別陽性者数(11月28日時点)

(6月14日以降11月28日までの判明日分) (N=14,611名(調査中、不明、無症状3,233名を除く))

※推定感染日:発症日から6日前と仮定

潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

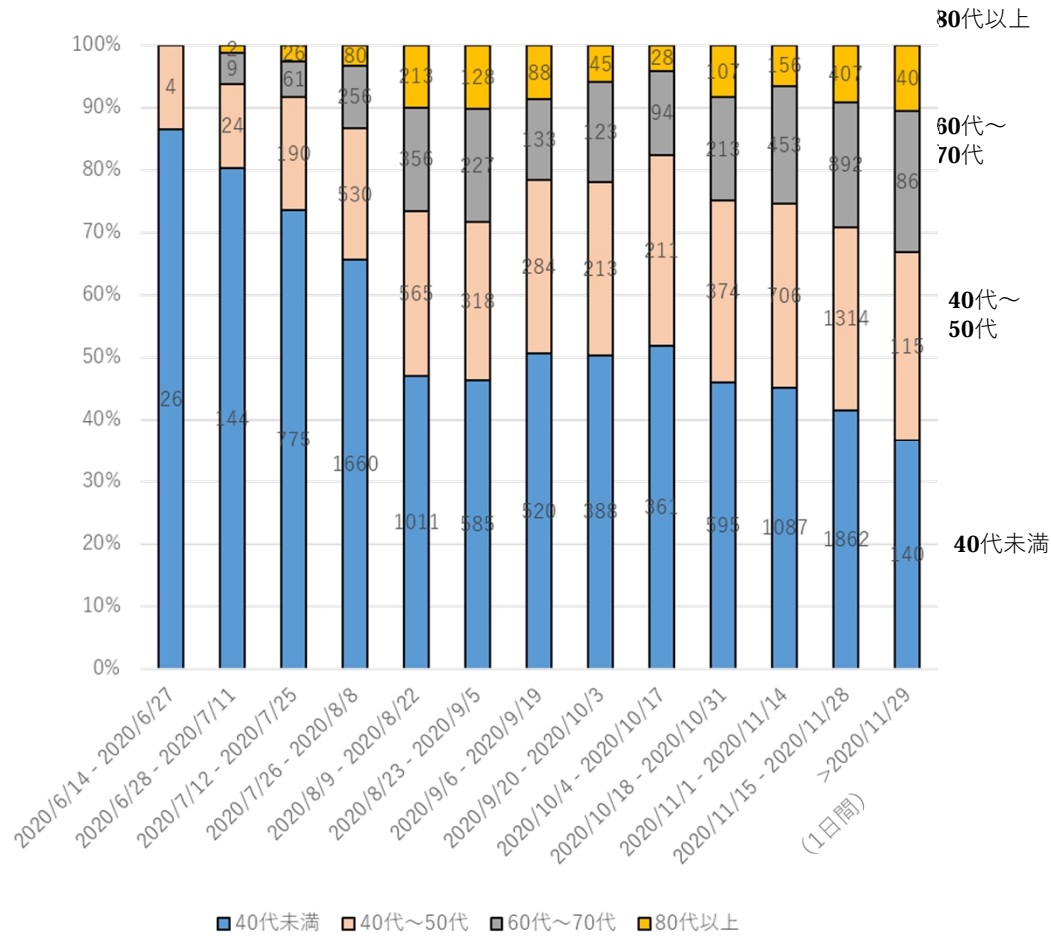
感染から発症まで6日、
発症から陽性判明まで7日
と仮定すると、
概ねこの期間は今後、新規
陽性者の発生に伴い、増加。



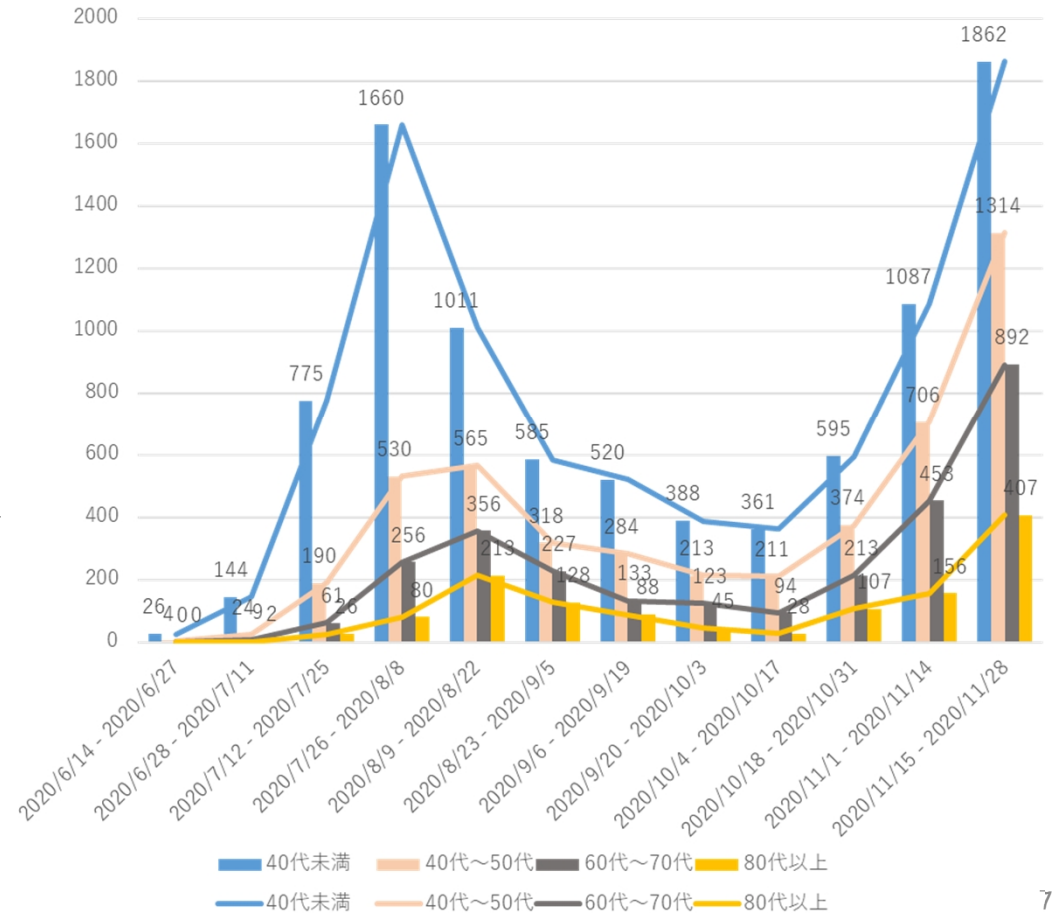
陽性者の年齢区分

(6月14日以降11月29日までに判明した18,225事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



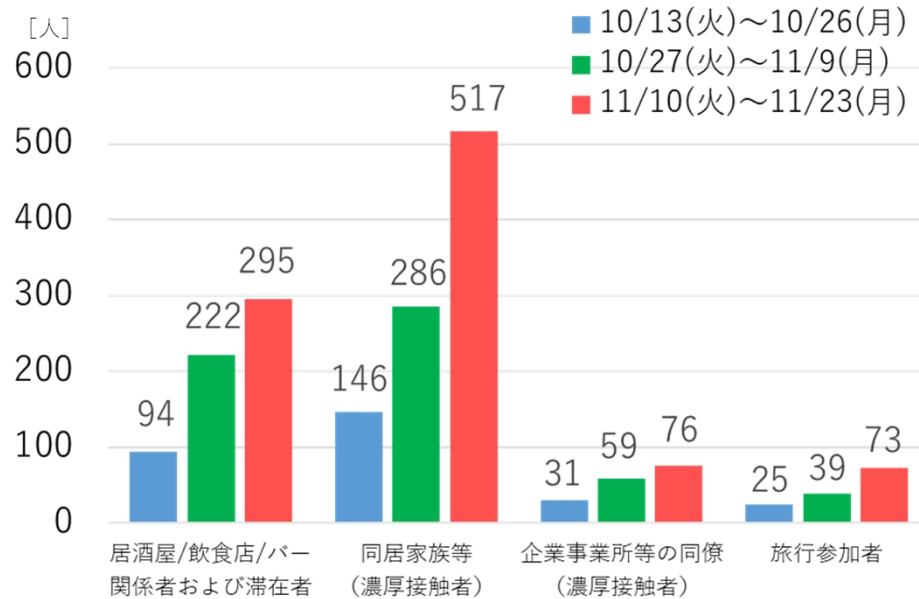
陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



状況別の陽性者、クラスターの発生状況（11月23日時点）

※店の種別は、本人からの聞き取り情報による

● 状況別の陽性者

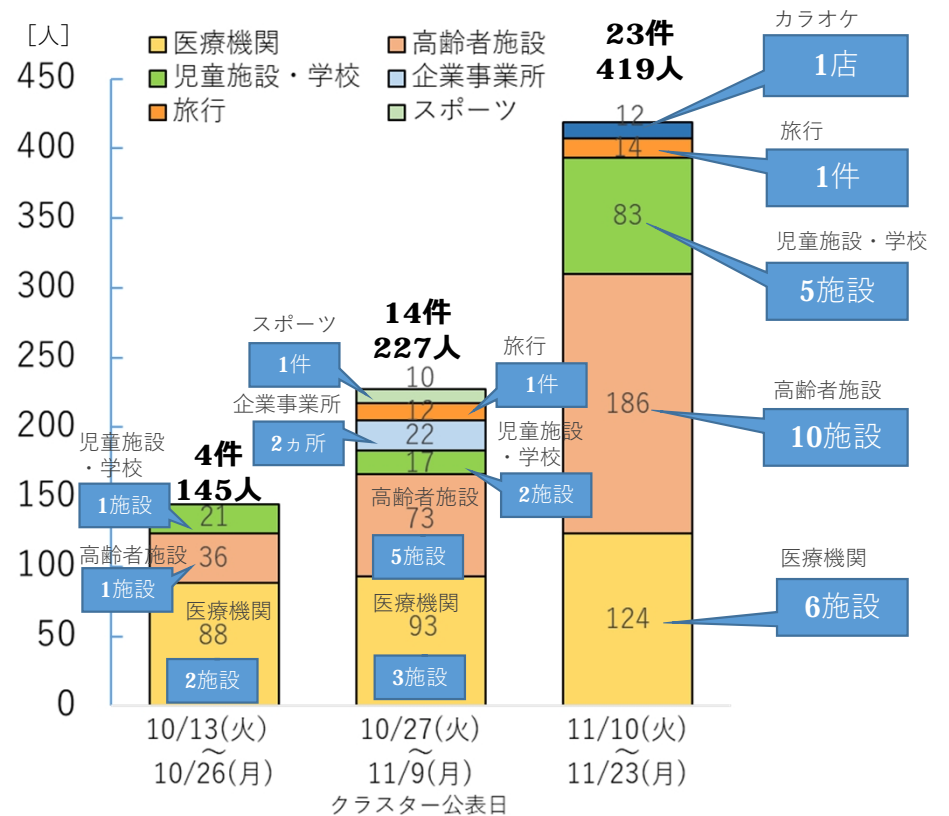


※店の種別は、本人からの聞き取り情報による

【全陽性者に占める割合】

状況	10/13-10/26	10/27-11/9	11/10-11/23
居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	10.3%	16.1%	3.4%
同居家族等(濃厚接触者)	12.3%	15.8%	3.3%
企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	7.3%	12.8%	1.9%
旅行参加者			2.8%

● クラスターの発生状況



※全陽性者数：10/13-10/26 909名 10/27-11/9 1,805名 11/10-11/23 4,036名

クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	ライブ参加者	4施設	48	14.1%
2	大学の関係者	1大学	8	2.4%
3	医療機関関連	6医療機関	284	83.5%
計			340	100%

第二波のクラスターの発生状況
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	飲食店関連	5店	45	5.4%
2	大学・学校関連	3校	48	5.7%
3	医療機関関連	10医療機関	295	35.1%
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	46.3%
5	その他	4件	63	7.5%
計			840	100%

第三波のクラスターの発生状況
(10月10日以降11月23日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	割合
1	大学・学校関連	7校	113	14.3%
2	医療機関関連	11医療機関	305	38.6%
3	高齢者施設関連	16施設	295	37.3%
4	その他	7件	78	9.9%
計			791	100%

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	791
全陽性者数	1,786	9,271	6,873
割合	19.0%	9.1%	11.5%

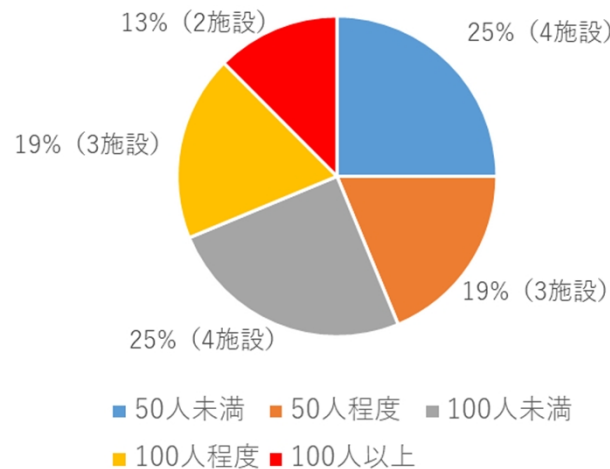
高齢者施設におけるクラスターの発生状況

(10月10日以降11月23日発表分まで)

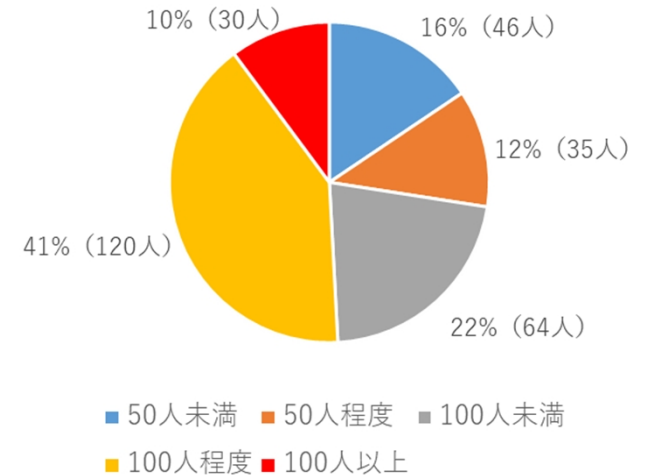
第3波の高齢者施設クラスターの状況

	発表日	発表名称	利用者数規模 (定員、病床)	陽性者		
				職員	利用者	合計
1	10月26日	大阪市の高齢者施設関連⑥	100人程度	14	22	36
2	10月29日	松原市の高齢者施設関連③	50人程度	7	8	15
3	11月1日	大阪市の高齢者施設関連⑦	100人以上	4	13	17
4	11月6日	大阪市の高齢者施設関連⑧	50人未満	5	8	13
5	11月7日	吹田市の高齢者施設関連	100人以上	4	9	13
6	11月9日	大阪市の高齢者施設関連⑨	100人未満	5	10	15
7	11月12日	大阪市の高齢者施設関連⑩	100人未満	7	19	26
8	11月13日	大阪市の高齢者施設関連⑪	100人程度	14	49	63
9	11月14日	茨木市の高齢者施設関連②	50人程度	5	4	9
10	11月16日	大阪市の高齢者施設関連⑫	100人未満	2	9	11
11	11月19日	八尾市の高齢者施設関連③	50人未満	2	6	8
12	11月19日	岸和田市の高齢者施設関連	100人程度	5	16	21
13	11月20日	枚方市の高齢者施設関連	100人未満	3	9	12
14	11月20日	大阪市の高齢者施設関連⑬	50人未満	2	13	15
15	11月21日	大阪市の高齢者施設関連⑭	50人程度	4	7	11
16	11月22日	大阪市の高齢者施設関連⑮	50人未満	3	7	10

第3波の高齢者施設クラスターの規模（定員）別内訳（施設数割合）



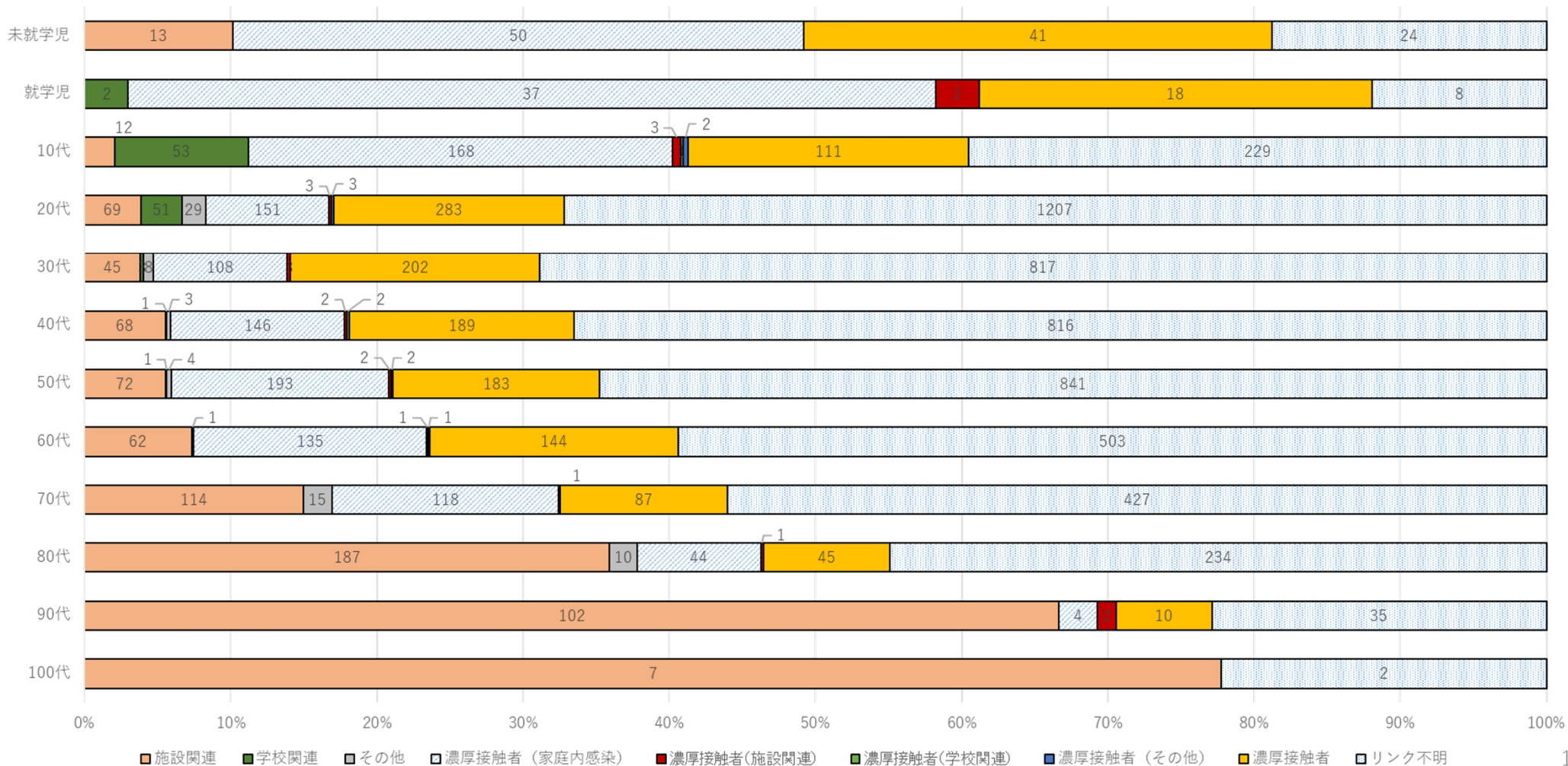
第3波の高齢者施設クラスターの施設規模別内訳（陽性者数割合）



陽性者合計**295**人（職員**86**人、利用者**209**人）

年代別感染経路

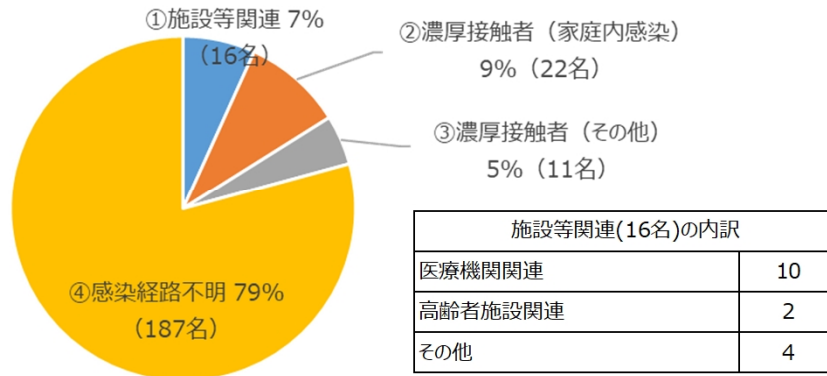
(10月10日以降11月28日までに判明した8,573事例の状況)



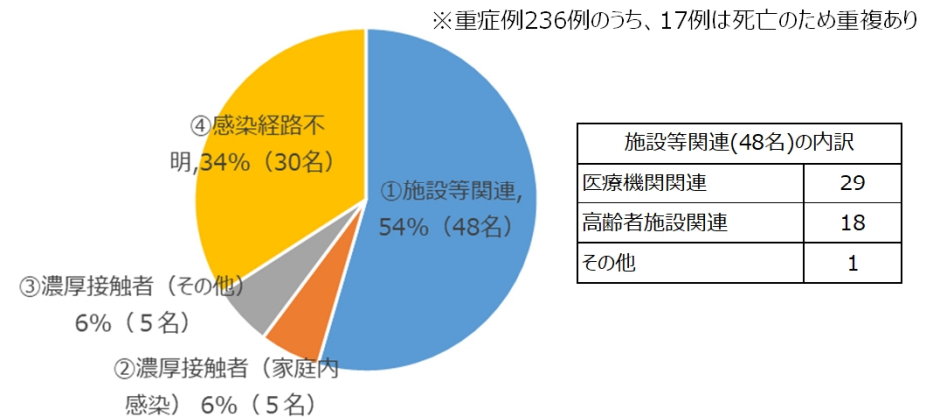
【10/10以降】重症・死亡例について推定される感染経路（11/29判明時点）

10月10日以降の重症例236名について、推定される感染経路の約8割は感染経路不明者。
 死亡例88名について、推定される感染経路の5割強が施設等関連で、3割強が感染経路不明者。

重症例（N=236）について推定される感染経路



死亡例（N=88）について推定される感染経路



年代	重症例 総数	感染経路内訳				感染者 総数	重症化率
		①	②	③	④		
30代	8		1		7	1,234	0.65%
40代	12		1		11	1,278	0.94%
50代	29			2	27	1,362	2.13%
60代	52	3	5	2	42	893	5.82%
70代	86	6	10	6	64	802	10.72%
80代	47	5	5	1	36	555	8.47%
90代	2	2				159	1.26%
計	236	16	22	11	187	6,283	3.76%

年代	死亡例 総数	感染経路内訳				感染者 総数	死亡率
		①	②	③	④		
50代	4	2		1	1	1,362	0.29%
60代	4	1	1		2	893	0.45%
70代	27	17	1		9	802	3.37%
80代	31	15	1	2	13	555	5.59%
90代	21	12	2	2	5	159	13.21%
100代	1	1				9	11.11%
計	88	48	5	5	30	3,780	2.33%

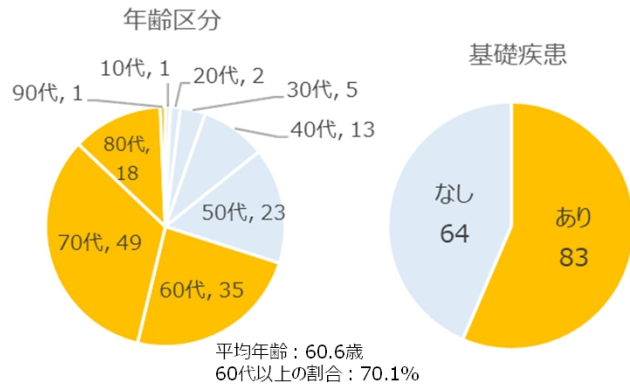
重症者のまとめ（11月29日時点）

※令和2年1月29日から6月13日を「第一波」、6月14日から10月9日を「第二波」、10月10日以降を「第三波」と総称して分析

第一波（6/13まで）

新規陽性者数	1786
（再掲）40代以上	1054
重症者数	147
死亡	47
転退院・解除	100
帰入院中（軽症）	0
帰入院中（重症）	0

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：13.9%
全陽性者数に占める重症者の割合：8.2%

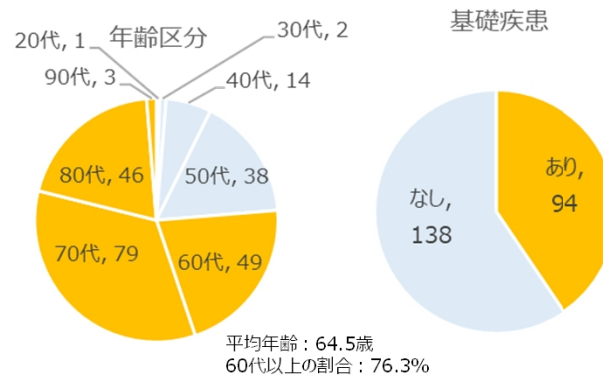


第二波（6/14～10/9）

新規陽性者数	9271
（再掲）40代以上	4012
重症者数（※）	232
死亡	39
転退院・解除	191
帰入院中（軽症）	1
帰入院中（重症）	1

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が7例あり

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.8%
全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%

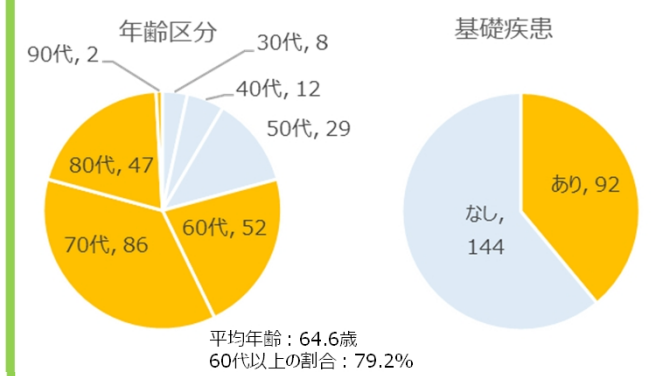


第三波（10/10以降）

新規陽性者数	8954
（再掲）40代以上	5058
重症者数（※）	236
死亡	17
転退院・解除	37
帰入院中（軽症）	73
帰入院中（重症）	109

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が1例あり

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%
全陽性者数に占める重症者の割合：2.6%

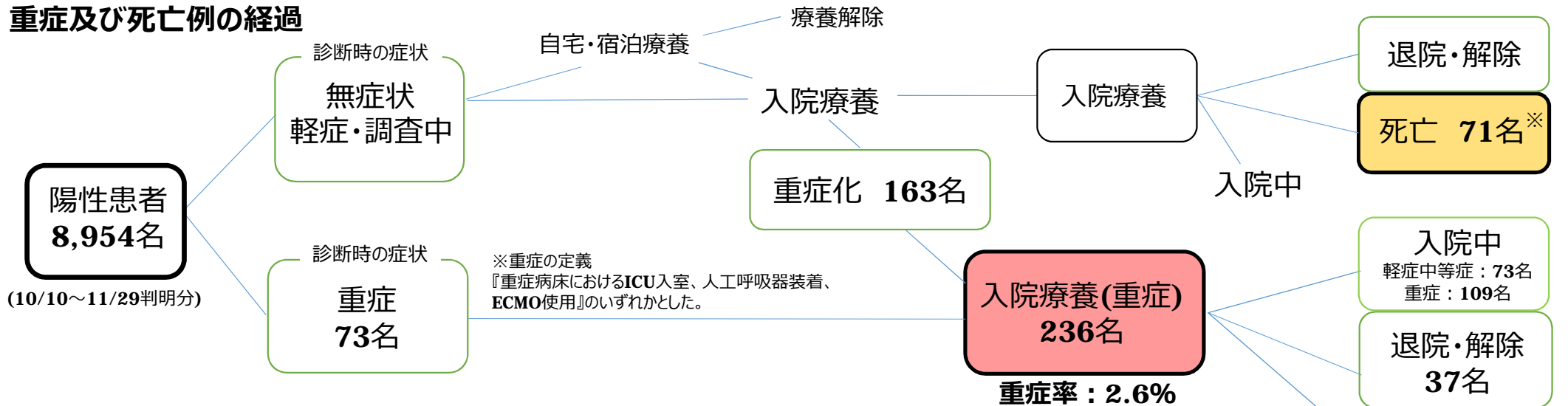


重症の定義：「重症病床におけるICU入室、挿管、人工呼吸器装着、ECMO使用」のいずれかとした。

基礎疾患：相談・受診の目安で示されている重症化リスクの高い患者（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている患者）

【10/10以降】重症及び死亡事例のまとめ（11月29日時点）

重症及び死亡例の経過



重症から死亡：17名
(死亡率：7.2%)

※陽性判明時に死亡されていた事例(N=7)含む。

死亡：88名
死亡率：1.0%

全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

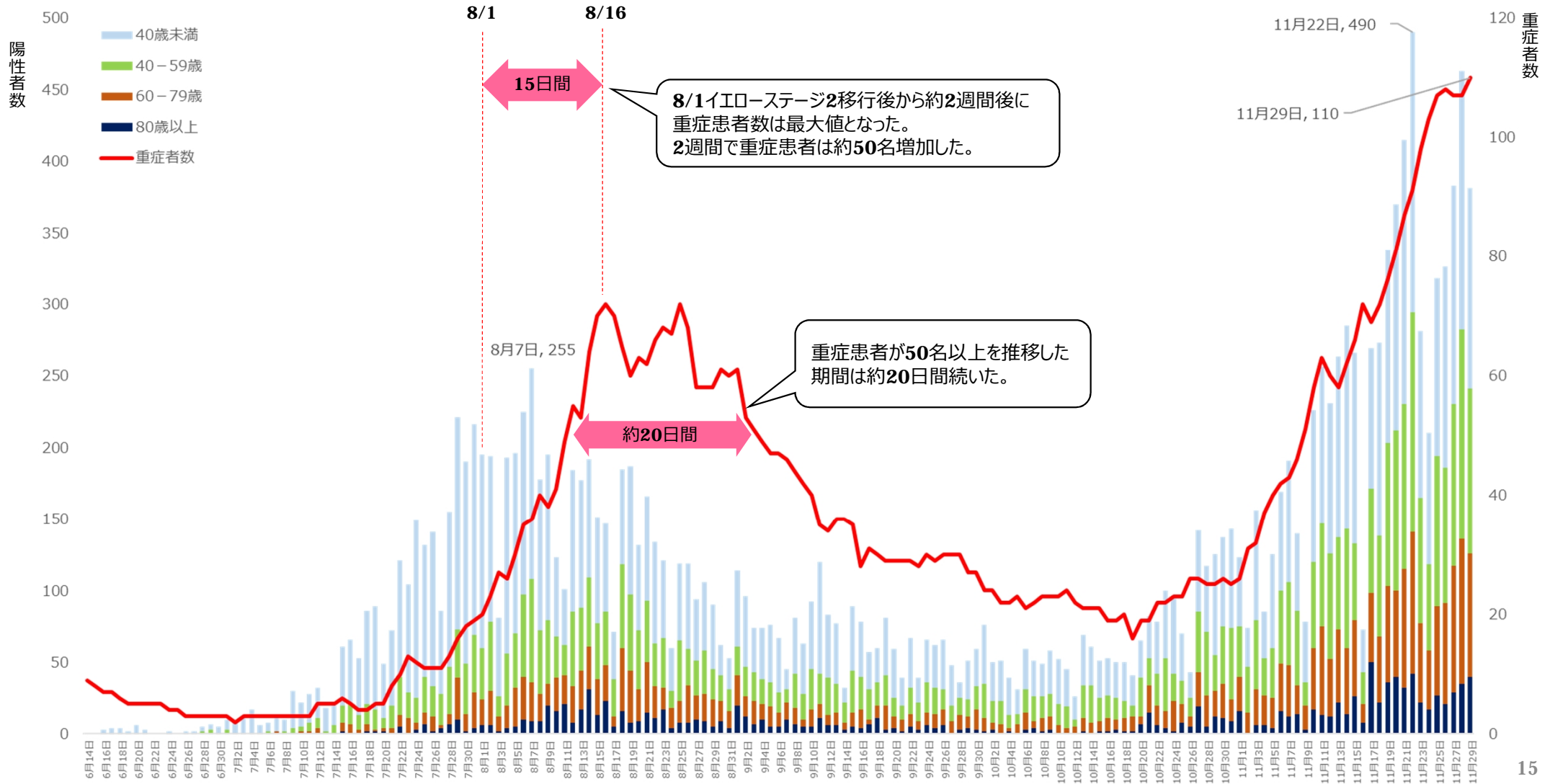
11/29判明時点

	累計陽性者数	死亡者数 (死亡率)						
		6/13まで	6/14~10/9	10/10~11/29				
大阪府	20,011	1,786	9,271	8,954	316 (1.6%)	87 (4.9%)	141 (1.5%)	88 (1.0%)
全国	145,231	17,179	70,012	58,040	2,118 (1.5%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	495 (0.9%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（各自治体公表資料集計分）より集計

陽性者の年齢区分と重症者数の推移（11月29日時点）



高齢者施設等に対するこれまでの主な取組み

感染予防の徹底・支援に併せて、クラスター発生に際し、早期の収束に向け、健康医療部・福祉部で連携して感染状況や施設特性に応じた支援を実施

①感染予防の徹底・支援

1. 高齢者施設等に対する研修等の実施

- 高齢者施設向け感染予防啓発チラシの作成
- 社会福祉施設向けの研修動画の公開
- 府の9保健所圏域ごとに府所管の入所施設向け研修会の開催
(政令中核市に対しても研修素材の提供)

2. 感染防止対策等の支援金の支給

- 感染防止対策費の補助
 - ・消毒等の環境整備、物資購入、研修実施
 - ・導線確保、レイアウト変更の改修

3. 感染対策に必要な物資の支給

- 必要な物資を確保・供給
 - ・マスク、手袋、個人用防護服等、消毒液

②クラスター発生時の支援 ～初動対応・業務継続の支援～

1. 早期検査の実施

- 保健所が実施した疫学調査に基づく早期のスクリーニング検査
- 職員・入所者に少しでも症状がある場合の早期検査

2. 専門家等の派遣

- 大阪府院内感染対策チームの派遣
 - ・感染管理の専門知識を有する医師・看護師等を派遣
→施設内のゾーニングや防護服の着脱方法等の技術指導を実施
- DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣
 - ・施設内の物的・人的マネジメントを含めた業務継続体制を支援
- 応援職員派遣体制の構築（府社協・大老協との協定締結）
 - ・入所系社会福祉施設等への応援職員の派遣

3. 患者の重症度に応じた転院調整の実施

- 府入院フォローアップセンターにおいて、コロナ受入病院への入院が必要な患者について、可能な限り早期に入院・転院できるよう調整

4. 必要な物資の供給

- 専門家の指示や対象施設の要請に応じて、必要な物資を迅速に供給

高齢者施設運営法人経営者に お願いしたいこと

高齢者施設等においてお願いしたいこと①

従業員や利用者に少しでも症状がある場合の積極的な検査受診

【対象者】 高齢者施設等の介護従事者等や入所者・利用者で、発熱等の症状がある方

※施設は入所型・通所型を問いません。

【相談先】 お住まいの地域または施設所在地を所管する保健所（新型コロナ受診相談センター）

【検査について】

- ・ **行政検査になりますので、検査費用の本人負担はありません。**
※症状等により、医療機関を受診していただく場合があります。その場合、初診料など新型コロナウイルスの検査にかかる費用以外の本人負担が発生する可能性があります。
- ・ **唾液等を採取して検査します。詳しくは保健所の指示に従ってください。**

高齢者施設等においてお願いしたいこと②

管理者等が中心となり職員の感染防止対策の徹底

u 職員の健康管理、職員が職場で体調不良を申しやすい環境づくり

u 職員等の常日頃からの感染対策の徹底

イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請（11月25日～12月11日）

●各団体等に特にお願いしたいこと〈高齢者施設、医療機関等へのお願い〉 抜粋

- 職員、施設と関わりのある業務の従業員に対し、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会は控えるよう求めること
- 職員に少しでも症状がある場合は、休暇を取得しやすい環境を整えるとともに検査を受診させること
- 職員、施設と関わりのある業務の従業員、入所者・入院患者、外部から訪問される方に対し、徹底した感染防止対策（マスクの着用、手指消毒等）を求めること
- 休憩室、喫煙所、更衣室などでのマスクを外した状態での会話は控えること

高齢者施設等においてお願いしたいこと③

感染者発生に備えた対策の実施

U 日頃から利用者の健康状態や変化の有無等に留意

- ・ 感染の疑いについてより早期に把握できるように、管理者が中心となり、毎日の検温の実施、食事等の際における体調の確認を実施

U 感染者発生時に備えた記録など、保健所の調査への協力

(記録例)

- ・ 症状出現 2 日前からの接触者リスト
- ・ 利用者のケア記録 (体温、症状等がわかるもの)
- ・ 直近 2 週間の勤務表、施設内に入入りした者等

高齢者施設等においてお願いしたいこと④

退院後の円滑な施設での受入れ

U 退院基準を満たした場合の施設での円滑な受入れ

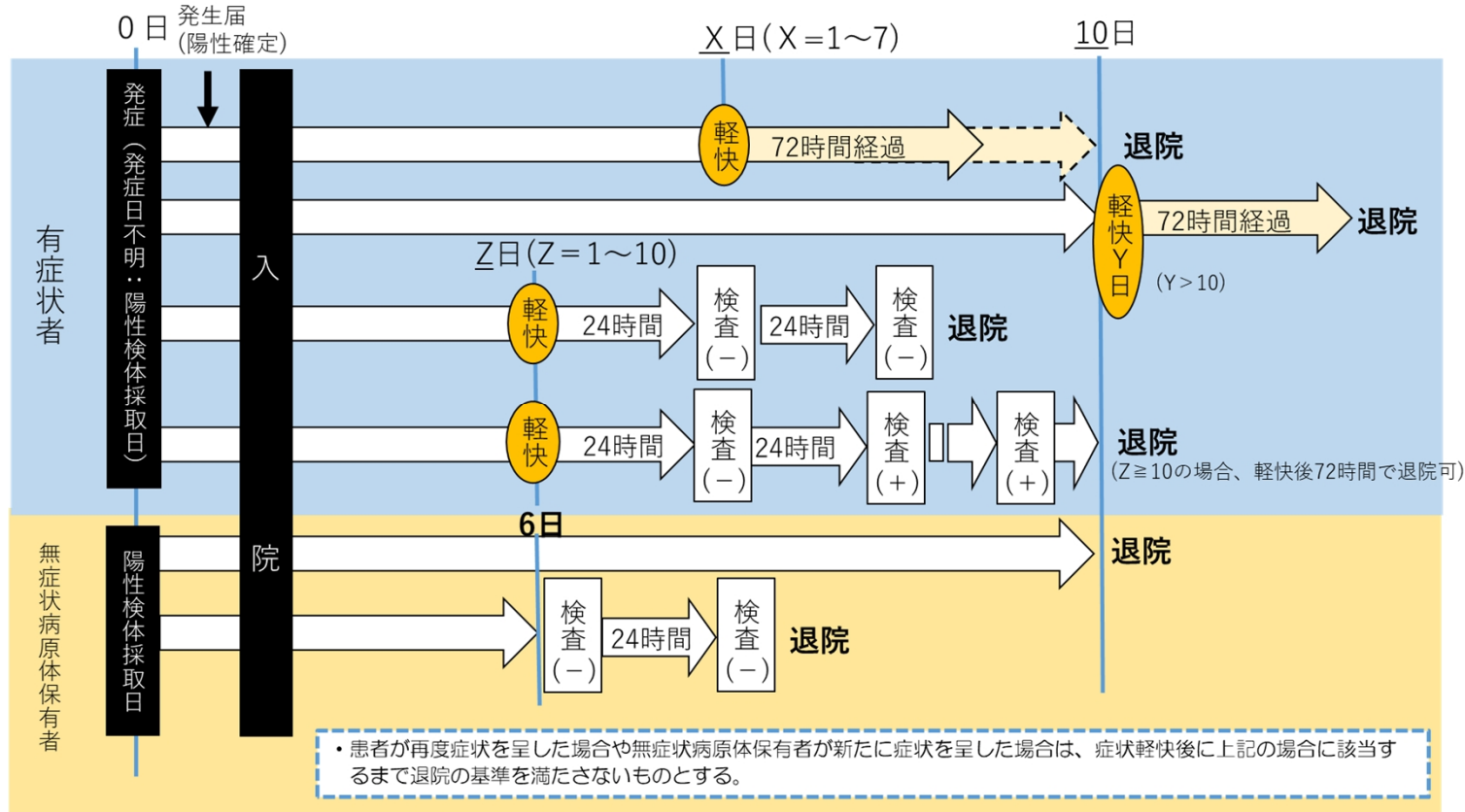
- ・ 国内外の知見によると、発熱等の症状が出てから7日～**10**日程度経つと、新型コロナウイルス感染者の感染性は急激に低下し、**PCR**検査等で陽性の結果が出る場合でも、感染性は極めて低いことがわかっています。
- ・ 病床ひっ迫の状況もふまえ、施設入所者等が入院し、基準に従い退院となった場合には、施設において円滑に受け入れていただきますようお願いいたします。

高齢者施設等においてお願いしたいこと④

退院後の円滑な施設での受入れ

【退院基準】

原則「発症日から**10日間経過**し、かつ症状軽快後**72時間経過**」（無症状者の場合は検体採取日から**10日間経過**）
退院基準を満たした後の、陰性確認のための検査については基本的に実施していません。



- u 高齢者施設におけるクラスター発生は入所者・利用者の重症化リスク・死亡リスクに直結。
- u 一度クラスターが発生すると対応が長期化。
- u 今一度、感染対策の徹底と、感染発生への備えを、よろしくお願いします。